

評価結果ダイジェスト

令和3年度 地域密着型通所介護
事業所名称 社会福祉法人積善会 東青梅デイサービスセンター
評価機関名称 一般社団法人 消費生活総合サポートセンター

事業者の理念・方針、期待する職員像

1 理念・方針

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)

- 1)安全、安心な介護に取り組めます。
- 2)利用者の尊厳を尊重することに取り組めます。
- 3)心ある介護従事者の育成に取り組めます。
- 4)地域の皆様に安心して利用してもらえる福祉の拠点として地域とともに歩みます。
- 5)利用者が自分らしく生きられるための支援をいたします。

2 期待する職員像

職員に求めている人材像や役割

求められる職員像としては

- ①時代の変化に対応できるよう情報収集し事業に取り入れられること。
- ②課題解決の方策を出せる能力をもつこと。

職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

法人の経営理念・基本方針を具現化し実践していくためには、個々の職員がその使命感を強く意識し、責任感と誇りをもって仕事に取り組むとともに、個々の職員の能力開発を通じて全体の力を向上させていくことが重要となる。

全体の評価講評

特に良いと思う点

- 様々なレクリエーションを実施し、利用者が自分の興味に合わせて主体的に参加して、事業所で楽しく過ごせるようにしている
- 散歩を兼ねたごみ拾いで、利用者の地域社会への参加を促し、意欲や満足感を高める取り組みとなっている
- 多種類の専門職がかかわってさまざまなサービスを提供し、利用者の健康維持、在宅生活の継続、家族の介護負担の軽減を図っている

さらなる改善が望まれる点

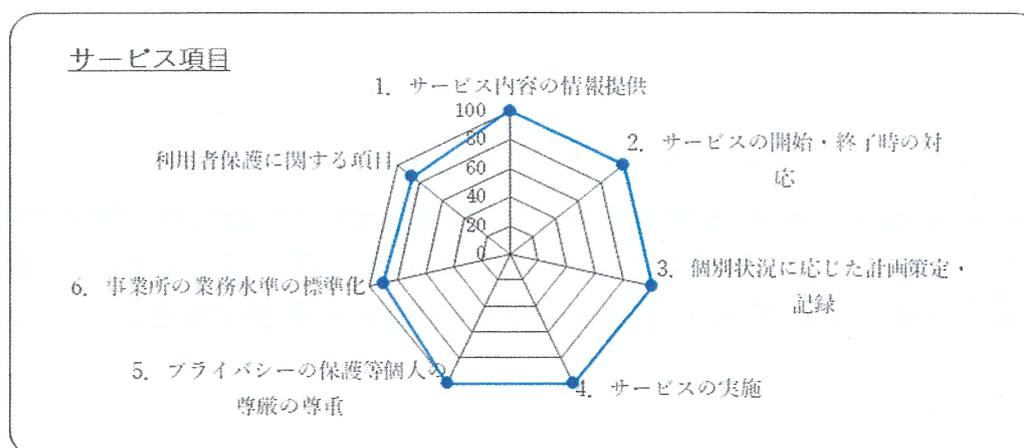
- 法人の事業継継続画(BCP)をもとに事業所として落とし込んだ対応・対策を検討し、職員への周知されることを期待したい
- 地域福祉の拠点として、地域への情報発信や利用者も含めた地域での活動に期待したい

事業者が特に力を入れている取り組み

- ★ 申し送りノートを活用し、利用者の様々な情報を集約して職員間で共有している
- ★ 理学療法士による機能訓練などにより、在宅での自立した生活の継続を図っている
- ★ コロナ感染症防止対策強化に努めている

評点の状況

— 標準項目の実施状況を数値化してグラフに置き換えたもの。



東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 101-0065

所在地 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル33号

評価機関名 一般社団法人 消費生活総合サポートセンター

認証評価機関番号

機構 20 - 250

電話番号 03-6268-9873

代表者氏名 会長 小野 由美子



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		修了者番号	
	①		H1102052	
	②		H0502004	
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	地域密着型通所介護			
評価対象事業所名称	東青梅デイサービスセンター		指定番号	1372801348
事業所連絡先	〒	198-0042		
	所在地	東京都青梅市東青梅1-5-28		
	TEL	0428-23-7121		
事業所代表者氏名	管理者 川口 友彦			
契約日	2021年	10月	1日	
利用者調査票配付日(実施日)	2021年	10月	21日	
利用者調査結果報告日	2022年	1月	13日	
自己評価の調査票配付日	2021年	10月	21日	
自己評価結果報告日	2022年	1月	13日	
訪問調査日	2022年	1月	20日	
評価合議日	2022年	2月	7日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者アンケートは、事業所から調査票・返信封筒を配布していただき、回答票は直接評価機関宛て郵送で回収した。職員に向けては、第三者評価の趣旨と自己評価手法について記入要領を基に理解を深めた。問題点を特定しやすいように、経営層の自己評価と職員調査結果、利用者調査結果をまとめた資料を作成して事業所に報告すると共に、評価に活用した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2022年 2月 24日

事業者代表者氏名 理事長 川口 睦弘



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)安全、安心な介護に取り組みます。 2)利用者の尊厳を尊重することに取り組みます。 3)心ある介護従事者の育成に取り組みます。 4)地域の皆様に安心して利用してもらえる福祉の拠点として地域とともに歩みます。 5)利用者が自分らしく生きられるための支援をいたします。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>求められる職員像としては ①時代の変化に対応できるよう情報収集し事業に取り入れられること。 ②課題解決の方策を出せる能力をもつこと。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>法人の経営理念・基本方針を具現化し実践していくためには、個々の職員がその使命感を強く意識し、責任感と誇りをもって仕事に取り組むとともに、個々の職員の能力開発を通じて全体の力を向上させていくことが重要となる。</p>

調査対象

調査期間中の全登録者を対象にした。
性別：男性6名、女性22名。年齢：85歳未満13名、85歳以上15名。要介護度：要介護2以下19名、要介護3以上6名、無回答3名。利用年数：3年未満19名、3年以上9名。

調査方法

アンケート方式
調査票を事業所より全利用者に配布していただき、回収は無記名で直接評価機関に郵送していただいた。

利用者総数

40

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
28	0	28
28	0	28
70.0	0.0	70.0

利用者調査全体のコメント

事業所への総合的な感想としては、「大変満足」が7名、「満足」が18名で、全体の89%の方が満足と答えており、大変高い満足度が示されている。その他は、「どちらともいえない」が1名、無回答が2名であった。また事業所への自由意見としては、職員が親切でよくやってくれていることへの感謝の言葉が複数寄せられている。コメントとして、「職員同士の連携が良く心地よい」「職員の方が皆親切」「本人から何も悪い話を聞かないので、安心して通わせている」「いつも行く日が楽しみ。家から外へ出る機会が他にないので、行くと気持ちがリフレッシュする」「食事がおいしく楽しみ。相談にも乗ってくれて安心して通っている」「(本人が)『デイサービスが楽しい』と言っていることは、職員が良いからだと思う」「日頃相談事にも臨機応変に対応してくれ助かっている」などの他、「もう少し昼食がおいしいとよい」「作業療法士や理学療法士を増やしてほしい」などの意見があった。個別の設定問でも、全15問の内10問について、「はい」の回答が75%以上を示すなど全般に満足度が高かった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	25	2	1	0
特にコメントはなかった。				
2. 日常生活で必要な介助を受けているか	20	1	3	4
特にコメントはなかった。				

3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	17	6	3	2
「はい」と回答された方から、「夏祭り」「自分の好きなことを自由にやらせてもらっている」「ボランティア活動で近所のごみを拾って回っていることに関心が持てる」とのコメントがあった。				
4. 事業所での活動は、在宅生活の継続に役立つか	23	3	1	1
「はい」と回答された方から「皆で歌を歌ったり、運動させてもらうこと」とのコメントがあった。				
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	24	2	2	0
特にコメントはなかった。				
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	24	2	0	2
「はい」と回答された方から「良いと思います」とのコメントがあった。				
7. 職員の接遇・態度は適切か	23	2	0	3
「はい」と回答された方から「皆さん良くできていると思います」とのコメントがあった。				
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	21	1	0	6
無回答の方から「体調を悪くしたことがないのでわからない」とのコメントがあった。				
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	18	2	0	8
「はい」と回答された方から「早い対応と相手の気持ちを考えた素晴らしい対応」とのコメントがあった。また「いじめやいさかいの場面にあったことがない」とのコメントが複数あった。				

10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	24	2	0	2
特にコメントはなかった。				
11. 利用者のプライバシーは守られているか	22	2	0	4
「無回答」の方から「経験がないのでわからない」との意見があった。				
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	22	1	0	5
「無回答」の方から「その場にいたことがないのでわからない」との意見があった。				
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	20	3	0	5
「どちらともいえない」と回答された方から「もう少し話し合いの時間が欲しい」、「無回答」の方から「よくわからない」とのコメントがあった。				
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	23	0	0	5
「非該当」の方から「特に不満に思ったことはない」とのコメントがあった。				
15. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	13	6	3	6
「いいえ」と回答された方から「外部の人に相談できることは全然知らなかった」、「非該当」の方から「特に困ったこともない」とのコメントがあった。				

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリー1～3、5～6）

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>パンフレットに事業所の情報をわかりやすく詳細に記載している</p> <p>事業所の情報を手作りのパンフレットで分かりやすく伝えている。パンフレットには法人の理念や沿革、事業所での一日の流れとともに、各種サービスについて送迎と使用車種、健康チェック、入浴、給食と1食分の料金、嚥下体操、個別機能訓練、生活機能向上、生活相談などを写真入りで伝え、基本料金表、定員、利用者の特徴、管理者のコメント、事業所のアクセス方法と地図なども掲載されている。表紙には事業所建物の写真、住所、電話番号、ホームページのアドレス、営業日、営業時間を載せ、利用者にとって有用な情報を提供している。</p> <p>ホームページでは利用料金や利用までの流れをわかりやすく説明している</p> <p>ホームページには、「基本情報」としてサービスの特徴を、「料金」として利用時間別・介護保険認定等級別の利用料金表や実費費用、加算について記載し、「利用までの流れ」で利用開始までの流れを説明している。「利用までの流れ」では、利用対象者は要支援1から要介護5であり、「見学・相談」「利用意思の確認」「担当者会議の開催」「利用契約」などをステップ順に丁寧に説明している。必要な情報を提供し、初めて利用する方にとっても不安なく申し込める、分かりやすいホームページになっている。</p> <p>利用希望者等の問い合わせや見学の要望には丁寧に対応している</p> <p>事業所への利用希望者やケアマネジャーからの問い合わせ、見学の要望には、管理者や相談員が担当し、月曜から土曜まで対応が可能である。具体的には、事業所のパンフレットを使用しながら施設内の様子、フロアや浴室環境などを見せて説明をし、なるべくレクリエーションや生活機能訓練などの様子を見てもらい、体験もするようにすすめている。また、利用希望者や家族の状況により、見学時に送迎を行うなど、個別の事情にも対応している。「利用希望者受付ファイル」に見学の際に把握した利用者の状況などを記録している。</p>		

サブカテゴリ2		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、利用者の不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ2の講評			
<p>サービスを利用するに当たって重要な事項をサービス開始前に分かりやすく説明している</p> <p>契約の際に契約書や重要事項説明書で、サービス内容、職員体制、営業時間、利用料金、利用開始や終了について、相談や苦情の窓口、苦情解決責任者、第三者委員の氏名と連絡先、市や社協などの相談・苦情窓口を説明している。また契約書別紙を用いてキャンセル規定を説明し、また緊急時の連絡先を把握している。説明内容や個人情報の取り扱いについて同意を得、署名、捺印を得ている。事業所では、料金、緊急時の対応、急変時に救急車を呼ぶ際には家族に來所していただくことなどについて理解を得られるよう丁寧に説明している。</p> <p>サービス開始時に利用者の支援に必要な個別事情や要望を把握し記録している</p> <p>サービス開始時に、自宅にて担当ケアマネジャーや関係事業所との担当者会を開催し、利用者・家族の希望や要望、個別の事情について聞き取り、アセスメントシートに記録している。聞き取りの際は特にアレルギー、食事の形態、入浴や排泄の方法などについて丁寧に把握するように努め、アセスメントで収集した情報の整理、課題抽出、目標設定、具体的な援助項目、援助方針などをまとめて通所介護計画書を作成している。通所介護計画書の内容や利用者の情報は、申し送りノートや夕方の申し送りで職員間で共有している。</p> <p>利用開始時、利用者の不安やストレスを軽減するように努めている</p> <p>利用開始時の利用者の不安やストレスを軽減するために、担当者会議の記録を申し送りノートに貼って、生活歴、家族構成、地域との関わり、ADL、IADLなどの情報を職員間で共有し、口頭でも伝えている。利用初日のお迎えには、管理者など顔見知りになった職員が行き、事業所ではその日の利用者が揃ったところで他の利用者に紹介をしている。職員は利用者の様子に気を付けながらコミュニケーションを図るようにしている。当日の利用者の様子を申し送りノートに記録して職員間で共有し、次回の利用の際の参考にしている。</p>			

サブカテゴリ3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 11/11

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の介護計画を作成している

評点(0000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

評価項目3

利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ3の講評

利用者の心身の状況や生活状況などを統一した書式に記録し把握している

利用者に関する情報は、「基本情報」として利用開始の背景、本人・家族の要望、生活歴や医療情報、現在利用しているサービスなどを把握し、ケアプランの概要とともにまとめている。また健康状態、ADL、IADL、精神的側面、排泄、口腔衛生、食事摂取、問題行動、趣味、居住環境、特別な事情など、サービス提供に必要な情報を詳細に把握し、アセスメントシートに記録している。これらの記録を基に通所介護計画書を作成し、ケアプランの更新時期に見直し、更新をしている。

利用者の希望と関係者の意見を取り入れ、個別の介護計画を作成している

アセスメントシートで得られた情報は、通所介護計画書の作成や支援の際に活かされている。通所介護計画書は利用者の希望を尊重して作成、見直しを行い、計画の内容を利用者に分かりやすく説明して同意を得ている。サービス利用時の利用者との会話や様子、観察などで得られた情報も記録し、計画に反映している。また生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員の情報をまとめ、多職種で連携して重度の利用者でも細かなケアが行えるように計画書を作成している。計画書はケアプランの変更に合わせ、また状況により随時に変更をしている。

利用者に関する情報を記録し、職員間で共有して支援に当たっている

連絡ノートには、利用者・家族からの連絡事項や自宅での様子が記入され、また利用者が事業所で過ごした際の様子、食事、入浴、排泄状況、レクリエーションや機能訓練なども記録している。このため連絡ノートの複写を記録としてまとめている。利用者に関する情報は申し送りノートに記載し、口頭でも伝えタ方の申し送りでも報告し合っている。申し送りノートには、必要に応じて連絡ノートをコピーして貼り、利用者の様子や対応方法の変更を細かく記載している。職員に申し送りノートの確認チェックを求め、情報の共有を図っている。

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 利用者のプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者に関する情報(事項)を外部和りとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 個人の所有物や個人宛文書の取り扱い等、日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮した支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報やプライバシーの保護を徹底している</p> <p>法人の個人情報保護に対する基本方針を法人ホームページに掲載している。契約書には、事業者や職員が知り得た利用者及び家族に関する秘密を正当な理由がなく第三者に漏らさないこと、利用者から予め文書で同意を得ない限りサービス担当者会議等において利用者の個人情報を用いないことなどを明記し、サービス提供に必要な個人情報の利用目的などを説明して「施設サービス利用に係わる情報提供同意書」に署名を得ている。利用者の荷物は名札をつけて保管し、請求書などは封筒に入れて渡すなど、プライバシーの保護を徹底している。</p> <p>日常の支援では、利用者の権利を守り意思を大切にしている</p> <p>事業所の理念に「利用者の尊厳を尊重した支援に取り組む」を掲げ、「利用者の自己決定と選択を尊重し、その権利擁護を実現し個人の尊厳に配慮した介護に取り組む」としている。日常の支援では、個人の意思を尊重して事前の声かけを徹底している。利用者一人ひとりの生活歴、生活リズム、生活習慣に配慮した援助を心がけ、無理強いにならないように気をつけている。利用者調査の結果では「利用者の気持ちを尊重していますか」との問いについて86%の方が「はい」と回答している。</p> <p>個々の利用者に合わせて羞恥心に配慮した支援を行っている</p> <p>入浴の際は利用者の羞恥心に配慮し、一人ずつ誘導し個別に対応している。排泄支援は、誘導してトイレの前で待機する場合や、トイレへの移乗を行った後に外で待つ場合など、利用者の状態に合わせて、羞恥心に配慮した方法で行っている。自分でトイレに行ける利用者も多いため、片面に「使用中」と書いた手作りの札をトイレのドアノブにかけている。利用者が自分でトイレに入る場合にこの札を「使用中」にすることで、他の利用者がうっかりドアを開けないようにしており、訪問調査時この札を確認してトイレを使用する利用者の姿が見られた。</p>			

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/5

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○ 非該当
○あり ●なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○ 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○ 非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている	○ 非該当

サブカテゴリ-6の講評

各種のマニュアルを整備し、OJTにより業務の標準化を図っている

デイサービス業務マニュアルをはじめ、倫理規定、感染症対応マニュアル、緊急時・事故発生時対応マニュアル、苦情対応処理マニュアル、個人情報・プライバシー保護マニュアル、身体拘束廃止マニュアル、防災マニュアルなど必要なマニュアルを整備し、事業所に置いている。また職員の様子を見ながらOJTを行い、提供しているサービスの基本事項や手順を確認して、業務の標準化を図っている。ワンフロアで少人数の事業所であるため、職員の状況確認が容易であり、また職員間の距離が近く、効果的なOJTが行われている。

業務の見直しは利用者に合わせて適宜行い、変更点の周知は迅速に行われている

事業所では利用者の特性に合わせた個別対応も多く、業務について必要な見直しは臨機応変に随時行い、少人数の事業所であることから情報の共有も早く、変更点の周知は迅速に行われている。職員はそれぞれの業務や役割分担を把握し、責任をもって業務に当たっている。マニュアルの見直しは勉強会の際に読み合わせなどを行っているが、定期的に見直すには至っていない。標準的な支援方法の確認のためにも、マニュアルの定期的な見直しを期待したい。

質の高いサービスの提供を目指し、計画的に研修を行い職員の育成を図っている

事業所では1、2カ月おきに内部研修を行い、職員の育成を図っている。研修テーマは事業計画、法令遵守、身体拘束、防災、感染症予防、医療、認知症ケアなど多岐に渡り、外部講師を招いて認知症の家族支援などについても学んでいる。外部研修にも積極的に参加を促している。また人材育成の一環として、利用者のモニタリングを介護職員にも記入してもらい、PDCAサイクルへの理解を促している。法人の基本理念である「心ある介護従事者の育成に取り組む」に従い、質の高いサービスの提供を目指している。

II サービスの実施項目(サブカテゴリー4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	20/20
1 評価項目1 地域密着型通所介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域密着型通所介護計画に基づいて支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者が望む生活像に基づき、日常生活において利用者自身が選択、判断できるよう支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者の支援は、さまざまな機関や職種が連携をとって、支援を行っている	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>自宅で安定した生活ができ身体機能が向上するように、計画書に基づき支援を行っている</p> <p>自宅で安定した生活ができ、身体機能が向上するように、通所介護計画書に基づいた支援を行っている。地域密着型の事業所であり、少人数の落ち着いた雰囲気の中で、日帰りで、食事や入浴等の日常生活支援や、生活機能訓練などのサービスを提供している。介護を受ける利用者の心身機能向上と、介護を行う家族の負担を軽減することを目的に支援を行い、また利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携した支援を行っている。「サービス提供表及び実施報告書」に利用者のバイタル値や提供したサービス内容などを記載し、計画内容との確認をしている。</p> <p>利用者の希望する生活を維持できるよう、楽しく活力ある活動への支援を行っている</p> <p>通所介護では、利用者の希望する生活を維持できるように機能訓練などを行っているが、その際利用者が楽しんで活動に参加できるように心がけている。自宅で生活を続けて行くためにはどのような機能訓練をすべきか、楽しく活力ある生活を送るために何が必要かを常に考えて、利用者とのコミュニケーションを取りながら支援を行っている。活力ある生活には一人ひとりが役割を持つことも大切だと考え、今年度は利用者が散歩を兼ねて近所の清掃活動を行い、利用者からも好評であった。</p> <p>利用者の支援はさまざまな職種、関係機関と連携を取って行っている</p> <p>事業所では計画に基き、多職種で連携して支援を行っている。看護職員が体調などを把握して健康管理を行い、入浴、排泄などの支援やレクリエーションを介護職員が担当している。希望により機能訓練指導員による個別の機能訓練や体操、歯科衛生士による口腔機能改善へのチェックやアドバイス、管理栄養士による栄養へのアドバイスなども受けることができる。利用者を担当するケアマネジャーには毎月通所介護報告書で利用者の状態を伝え、状態変化にも連携を取って支援を行っている。科学的介護の推進に向けて、厚労省へ情報の提供を行っている。</p>			
2 評価項目2 利用者一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1.【食事の提供を行っている事業所のみ】 利用者の状況に応じて、食事時間が楽しくなるよう工夫している	○非該当	
●あり ○なし	2.【入浴介助体制のある事業所のみ】 利用者の状況に応じて、入浴方法を検討し介助を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 排泄介助が必要な利用者に対して、一人ひとりに応じた誘導や排泄介助を行っている	○非該当	
●あり ○なし	4. 利用者の心身の状況や家族の状況に応じて、安全に配慮した送迎方法を検討し対応している	○非該当	
評価項目2の講評			
<p>利用者の食事が楽しくなるように支援を行っている</p> <p>利用開始時に食事に関するヒアリングを行い、好き嫌いやアレルギーなどを把握し、代替食を提供している。月間献立カレンダーを作成し、利用者に事前に渡している。献立カレンダーには食事内容、カロリー、タンパク質、脂質、炭水化物、塩分が表示されている。嚥下状態に合わせた食形態で提供し、減塩やカロリー減に対応している。必要に応じて補助具、介助皿などを用意して、利用者が自分で安全に食事ができる環境にしている。また、お楽しみ食を月に4~5回提供し、食事が楽しくなるように音楽をかけるなどの工夫をしている。</p> <p>利用者の身体状況に応じた入浴、排泄を行えるように支援をしている</p> <p>利用者の既往歴、現病歴、身体状況、精神面、服薬状況、移動、移乗、更衣、整容などについてアセスメントシートに記録している。アセスメントシートを基に利用者の状況に合わせた介助方法を計画に記載し、安全な入浴や排泄の支援を行っている。入浴では一般浴槽、機械浴槽から選択し、利用者に合わせた介助方法を検討し、安心して入浴が行えるようにしている。来所時に血圧、体温、脈拍などの確認を行い、浴室には暖房を完備し、安全に入浴できる体制を整えている。排泄では利用者に応じた介助や羞恥心に配慮した声かけを行っている。</p> <p>利用者の状況に応じた送迎方法を検討している</p> <p>利用開始時の自宅でのサービス担当者会議の際に、利用者、家族より身体状況、サービス希望日、送迎時間などを把握し、住宅の構造や道路状況を考慮して安全に配慮した送迎が行えるようにしている。自宅の玄関先まで職員が専用車両にて送迎を行い、家族の意向や要望などに配慮した送迎ができるようにしている。お迎えの際には、利用者の体調、薬持参の有無、持ち物などを確認し、また家族との会話を重視して、自宅での介護負担などの相談も気軽に話せるような関係作りを心がけている。感染症対策として非接触型体温計やアルコール消毒液を持参している。</p>			

3 評価項目3 利用者の健康を維持するための支援を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の心身の状況に応じた健康管理を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	2. 日常生活の中で、一人ひとりの有する能力の活用や日常生活動作の維持・拡大に向けた支援を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 服薬管理は誤りがないようチェック体制の強化などのしくみを整えている	○ 非該当
●あり ○なし	4. 利用者の体調変化時(発作等の急変を含む)に、速やかに対応できる体制を整えている	○ 非該当
評価項目3の講評		
<p>利用者の健康状態を把握し、多職種で連携した支援により健康管理を行っている</p> <p>来所時に体温、血圧、脈拍の測定、毎月の体重測定を行い、看護師は利用者の健康状態を把握して健康管理を行っている。管理栄養士が栄養アセスメントで利用者の栄養状態を把握し、歯科衛生士による口腔ケアや指導により口腔状態の改善や誤嚥性肺炎の防止を図って、健康を維持できるように支援している。コロナ対応マニュアルを整備して職員のマスクの着用、手指消毒を徹底し、机にパーテーションを設置し、利用者来所時の手指消毒、食前の手洗い・うがいを行って感染症予防に努めている。日常生活を踏まえて健康管理のアドバイスも行っている。</p> <p>個別機能訓練計画書を作成し、利用者が自宅での生活を継続できるように支援している</p> <p>理学療法士を中心に、利用者の心身の状態について評価を行い、ケアプランの目標を把握したうえで、利用者の状態や希望を踏まえた個別機能訓練計画書を作成している。3か月に1度体力測定を行い、計画書の見直しをしている。歩行訓練や座位下肢筋力訓練、立位下肢筋力運動などの個別訓練を行い、介助の際に自分でできることは自分で行うように誘導するなど生活リハビリを行っている。ボールや音楽を使った集団での体操も行い、レクリエーションとして風船割りや棒サッカーなどの運動も実施している。自宅で手軽にできる運動の紹介もしている。</p> <p>服薬管理を行い、また緊急時には速やかに対応できるよう体制を整えている</p> <p>契約時に利用者の薬の情報を把握している。来所時に連絡ポーチから薬を預かってチェック表に記録し、利用者全員が揃った後に再度チェック表で全員の薬の確認とチェック付けをしている。また服薬を確認した後は、担当した職員の名前をチェック表に記入し、確実な服薬の実施に努めている。利用者の体調に変化があった場合には、家族、緊急連絡先、担当するケアマネジャーへ連絡するとともに、速やかに主治医に連絡をするなどの体制を整えている。救急車を呼ぶ場合は家族へ来所をお願いしている。</p>		
4 評価項目4 利用者の主体性を尊重し、快適に過ごせるような取り組みを行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者が他の利用者と快適な関係を持ちながら生活することができるよう支援を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	2. 利用者の状況に応じて、多様な活動ができるよう支援を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 利用者が落ち着いて生活できるような支援を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	4. 事業所内は、利用者の安全性や快適性に配慮したものとなっている	○ 非該当
評価項目4の講評		
<p>利用者が状況に応じて快適に過ごせるように支援している</p> <p>利用者の生活状況、習慣、性格などについて情報を把握している。その情報を踏まえ、席の配置は利用者に応じてなるべく会話が弾むように決め、他の利用者と円滑な関係が築けるようにしている。また体調や利用者の希望により、体を休められるようにベッドを用意している。定員が18名のデイサービスで利用者一人ひとりが間隔を空けて座れるスペースがあり、また職員がゆっくりと関われる時間が持てている。事業所は建物の1階にあり玄関からの見通しが良い造りのため、必要に応じてパーテーションを立て、落ち着いて過ごせるようにしている。</p> <p>利用者の主体性を尊重し、さまざまな活動を用意して楽しく過ごせるようにしている</p> <p>利用者の状況やニーズに応じて、個別やグループでのさまざまな活動を行っている。利用者と一緒にクレープの飾り付けやドラ焼き作りを行い、書道、カラオケ、季節に合わせた壁面装飾作り、体や頭を使うレクリエーション、季節行事などにより、事業所で楽しく過ごせるようにしている。季節行事は、夏祭りでは2階の事業所と合同でヨーヨーや輪投げなどの昔のゲーム、綿あめやかき氷などを提供し、敬老会では利用者への自慢大会や職員の出し物などを行っている。事業所では利用者が興味に合わせて主体的に参加できるように支援をしている。</p> <p>利用者の安全性や快適性に配慮した環境に努めている</p> <p>フロア内はバリアフリーで、利用者は自由に移動することができる。昨年に続きコロナ感染防止対策強化に努めており、快適性、安全性に配慮して、施設内の消毒を行い、パーテーションや空気清浄機を設置して、安心して過ごせるようにしている。送迎の際に入り口が込み合うため、入り口の椅子を撤去して奥の広い場所で靴の履き替えをできるようにするなど、利用者の様子を見ながら環境整備を行っている。事業所内は掃除が行き届いており、利用者調査では事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているかの質問に対して、86%の方が「はい」と回答している。</p>		

5 評価項目5 事業所と家族との交流・連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者のサービス提供時の様子や家庭での普段の様子を家族と情報交換し、共有している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 家族の状況に配慮し、相談対応やアドバイスをを行っている	○ 非該当
評価項目5の講評		
<p>事業所では家族と情報共有し、連携を取りながら利用者への支援を行っている</p> <p>通所介護を利用する時は、家族から利用者の状況や薬の変更など支援に必要な情報を連絡ノートに記入してもらい、サービスに関わる職員はその情報を口頭や申し送りノートで共有している。一方事業所からはサービス提供時の利用者の様子を連絡ノートに記載し、家族と情報を共有している。コロナ対策などの情報を連絡ポーチに入れて伝え、家庭での協力もお願いしている。体調不良時は家族に連絡して、家庭で受け入れが可能であれば無理せず早めに送るようにするなど、家族と連携を取って支援を行っている。</p> <p>利用者や家族の状況に配慮し、生活全般における相談に対応している</p> <p>サービス提供時の利用者ごとの健康状態を継続して記録しており、普段の生活を踏まえての健康管理アドバイスをを行っている。また、自宅での生活が快適に送れるように、家庭を訪問して排泄、歩行、入浴など介護に関する相談を受けている。生活全般に関する相談も受け、家族の状況を把握して、介護負担の軽減のための対応やアドバイスを伝えている。また担当ケアマネジャーと連携して計画の見直しを行い、問題解決を図っている。相談は電話やメールで受けるほか、送迎の際も貴重な情報交換の機会として家族の話も聞いている。</p>		
6 評価項目6 利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携して支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域のさまざまな機関や職種と協働し、地域の情報を収集して利用者の状況に応じた提供をしている	○ 非該当
●あり ○なし	2. 運営推進会議等を活用して、利用者が地域のさまざまな資源を利用するための支援を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所が利用者と共に地域の一員として日常的に交流している	○ 非該当
評価項目6の講評		
<p>利用者が地域での暮らしを続けられるように、地域の情報を収集し利用者に提供している</p> <p>地域のさまざまな機関と連携し、また地域の情報を収集して、利用者の状況に応じて提供している。従来は、利用者が地域の方々と関わられるように、中学校の職場体験、ボランティアなどの受け入れ、保育園児との交流なども行われていた。地域連携の重視の方針を掲げて町内会に属し、民生委員、自治会との交流を深め、地域への救急救命の講習会を行い、廃品回収などの地域活動に積極的に参加していたが、コロナ禍で現在は中止になっている。自治会の回覧板などにより地域から得た情報は、必要に応じて利用者に提供している。</p> <p>運営推進会議等で地域に事業所の状況を伝え、地域の情報を得るように努めている</p> <p>例年は運営推進会議を活用して、事業所の状況を伝え、利用者が地域の資源を活用できるよう意見を収集していた。運営推進会議は年2回開催し、町内会の役員、民生委員、市の担当部署、地域包括支援センター、法人担当者などに参集をお願いしている。しかし今年度はコロナ禍にあり、会議の開催は取りやめ資料を送付して意見を伺っている。地域の方からは、応急救護法の再開を望む声などがあつた。事業所への理解を深めるため、管理者は地域の活動に参加し、地域の方と顔なじみとなり、話しやすく相談できる関係を継続していくように努めている。</p> <p>コロナ禍であったが、時期を選び外出を兼ねた社会活動を実施している</p> <p>従来は利用者の状況に応じ、四季おりおりの自然を楽しみに定期的な外出を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で外出活動ができなくなった。そこでコロナの感染が収まった時期に、社会的活動を行うことを目的として、散歩を兼ねて地域のゴミ拾いを行った。利用者からも好評であったため、今後も継続していく方向で考えている。次年度も新型コロナウイルス感染拡大が考えられるが、コロナ禍でも利用者の社会参加ができる取り組みを検討していく予定である。</p>		

Ⅲ 利用者保護に関する項目

利用者保護に関する項目		標準項目実施状況	7/9
1 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			
		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
2 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			
		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
3 評価項目3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる			
		評点(〇〇〇●●)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		○非該当
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		○非該当
利用者保護の講評(※利用者保護の内容から3つ(必須)記載してください)			
<p>契約書や重要事項説明書に苦情解決の方法について記載し契約時に説明している</p> <p>苦情解決については、受付から解決に至るまでの手順や担当者を定め、速やかに対応する体制ができています。また相談や要望についても随時応じ、必要に応じて職員に周知対応を行っている。契約書に苦情解決の手順を、契約書別紙に事業所とともに市役所や国民健康保険団体連合会を含めた相談・要望・苦情等の窓口を記載し、重要事項説明書に、「苦情申出窓口」の設置について、として苦情解決の方法や第三者委員、第三者機関について詳しく載せている。契約時には丁寧に説明を行い、利用者から説明への確認を得ている。</p> <p>虐待に関する勉強会を行い職員に周知し、また早期発見に努めている</p> <p>基本理念に豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた介護従事者を育成することを掲げ、「言葉を大切に、このデイサービスに来てよかった、楽しい、と言われる施設」を目指して、職員は接遇に気をつけて支援を行っている。身体拘束防止マニュアルを整備し、勉強会で虐待についての必須研修を実施するとともに「虐待の芽チェックリスト」で振り返りを行っている。利用者の様子や、入浴・排泄介助の際に身体の傷などに注意して、家庭での虐待が疑われる場合はケアマネジャーに連絡を取り、連携して迅速に解決を図る体制になっている。</p> <p>マニュアルを整備し、研修や訓練を行い、リスクへの対応を行っている</p> <p>危機管理として感染症、緊急時・事故発生時対応、防災などのマニュアルを整備し、消防計画を立て、毎年研修や防災訓練を行っている。災害時の備蓄を整え、経営環境の変化について把握し対応を検討している。またヒヤリハット報告書の分析を行い、再発防止策を検討している。大災害における復旧計画やサービス提供の継続に関しては、事業継続計画(BCP)として、他施設を含む法人全体で検討中である。消毒、職員や利用者の検温、テーブルへのパーティションの設置など新型コロナウイルスへの対応を行い、利用者の安全を図っている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-3	利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している
タイトル①	申し送りノートを活用し、利用者の様々な情報を集約して職員間で共有している	
内容①	利用者の情報を申し送りノートに集約し、職員間の情報共有ツールとして使っている。申し送りノートには、担当者会議の記録、ケアマネジャーからの連絡事項、送迎の際に把握した利用者の状況や家族の要望、サービス提供時の特記事項などを記載している。必要に応じて家族からの連絡ノートのコピーを貼ったり、特に強調したい点はカラーペンを使用して確認を促すなど、コンパクトに情報が詰まった有効な情報共有手段となっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	利用者の健康を維持するための支援を行っている
タイトル②	理学療法士による機能訓練などにより、在宅での自立した生活の継続を図っている	
内容②	機能訓練指導員は利用者の心身の状態を評価して個別機能訓練計画書を作成し、3か月に1度体力測定を行って計画書の見直しをしている。階段や平行棒、歩行器を使用しての歩行訓練や、下肢筋力トレーニングなどの個別訓練、小集団での体操を行い、タオルやボールを使った体操も行っている。日常の生活リハビリとして、残存能力をいかし、歩行や入浴などの際には介護し過ぎない介護に努め、自宅でできる運動の紹介もしている。コロナ禍で利用者の運動する機会が減っているため体を動かすレクリエーションも行い、利用者の心身機能の維持を図っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	利用者の健康を維持するための支援を行っている
タイトル③	コロナ感染症防止対策強化に努めている	
内容③	コロナ感染症防止対策強化に努めており、コロナ対応マニュアルを作成し、職員の検温やマスクの着用はもちろんのこと、利用者にも体調管理をお願いして自宅での検温と来所時の検温を行い、できる方にはマスクの着用をお願いしている。また来所時の手指消毒、食前の手洗いがいにより、感染症予防に努めている。施設内の消毒を丁寧に行い、パーテーションや空気清浄機を設置して、安心して過ごせるようにしている。コロナ対策について家族にお知らせを出し、都からの利用者へのPCR検査の実施なども家族に知らせて積極的にすすめている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	様々なレクリエーションを実施し、利用者が自分の興味に合わせて主体的に参加して、事業所で楽しく過ごせるようにしている
	内容	毎日レクリエーション担当の職員を決め、利用者の状況やニーズに応じて活動ができるように、個別活動やグループ活動を行っている。利用者と一緒にクレープの飾り付けやドラ焼き作りを行い、書道、カラオケ、季節に合わせた壁面装飾作り、体や頭を使うレクリエーションなどを行っている。季節に合わせた行事もを行い、夏祭りでは昔懐かしいヨーヨーや輪投げ、綿あめ、かき氷などを楽しめるようにしている。利用者が興味に合わせて活動に主体的に参加し、生き生きと楽しく過ごすことによって、生活意欲が高まるように支援を行っている。
2	タイトル	散歩を兼ねたごみ拾いで、利用者の地域社会への参加を促し、意欲や満足感を高める取り組みとなっている
	内容	事業所では従来より、地域に貢献できる活動を模索している。地域と利用者とのかかわりとして、従来行われていた外出活動、ボランティアや中学生の職業体験の受け入れ、保育園との交流などが、コロナ禍のために中止になり、利用者との接点が失われている。そこで、今年度コロナ感染症が収まっている時期を見計らい、利用者の散歩を兼ねて地域のごみ拾いを行った。外気に触れて心地よく、また地域に貢献する機会を持つことで、利用者の意欲や満足感を高めている。利用者からも高評価であり、今後も社会貢献の場を提供することを考えている。
3	タイトル	多種類の専門職がかかわってさまざまなサービスを提供し、利用者の健康維持、在宅生活の継続、家族の介護負担の軽減を図っている
	内容	事業所では、日帰りで利用者に食事や入浴の機会を提供し、楽しく過ごせるようにレクリエーションや季節行事を行っている。看護職員による健康管理をはじめ、機能訓練指導員の心身の機能評価を基にした訓練や活動、管理栄養士の栄養アセスメントを基にした栄養状態の改善、歯科衛生士の口腔ケアによる口腔機能改善などが図られている。生活相談員も含めた各専門職による利用者や家族へのアドバイスもあり、利用者の健康を維持して、在宅生活の継続を図るとともに、家族介護の負担の軽減にもなる支援を行っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人の事業継続計画(BCP)をもとに事業所として落とし込んだ対応・対策を検討し、職員への周知されることを期待したい
	内容	事業所では危機管理として感染症、緊急時・事故発生時対応、防災などのマニュアルを整備し、消防計画を立てている。また緊急連絡網を整備し、年2回防災訓練を行い、災害時の備蓄を整えるなど、災害に備えて対応を行っている。大災害における復旧計画やサービス提供の継続に関しては、事業継続計画(BCP)として、特養や他施設を含む法人全体での検討が行われ、現在法人で作成、見直しを行っている段階である。事業所で、さらに落とし込んだ対応・対策を検討し、災害への備えを充実させ、職員へ周知されることが期待される。
2	タイトル	地域福祉の拠点として、地域への情報発信や利用者も含めた地域での活動に期待したい
	内容	地域の福祉拠点として、地域住民への講習会や中学生の職場体験の受け入れなど、情報発信や事業所への理解を深める取り組みを行っている。今年度も資源回収や盆踊り大会に参加するなど、地域活動への積極的参加を計画していた。しかしコロナ禍で地域活動への参加は中止にすることとなったため、事業所では新しい取り組みとして、時期を選び、地域の清掃活動として利用者のごみ拾いを行っている。地域の方からは講習会の再開を希望する声があり、また清掃活動は利用者から高評価であったことから、今後のさらなる取り組みに期待したい。
3	タイトル	
	内容	

